

移送サービスのつどい 2018

～今、私たちが考え、 なすべきこと～

2018年9月29日(土)

13:30～17:00 (受付 13:00～)

主催:東京ハンディキャブ連絡会/東京ボランティア・市民活動センター

会場:東京都社会福祉協議会 会議室 (飯田橋セントラルプラザ12階)

参加費:一般 2,000 円/会員 1,500 円 ※当日受付にて現金でお支払いください

【講演】 (13:30～15:00)

最新の通達を学び、これからの移送サービスを考える

今年3月、運営協議会に関する新しい通達が出されました。この通達を理解し、運営協議会が適正に運用されるよう働きかけていきましょう。これと合わせて移送サービスがステップアップしていく可能性を探っていきたいと思います。

講師:国土交通省旅客課

【トークセッション】 (15:00～16:30)

災害の現状から考える私たちにもできる災害支援!

被災地での障害者・高齢者等災害弱者の状況を踏まえ、災害時移送サービスが担う役割を模索します。災害支援を行うためには発災前に利用者や人的資源の把握、備品等の整備などやるべきことがあります。今回の講演では、共助の意識を高め、各団体が災害を自らの問題として捉え、その支援についての知識を蓄えることを目的とします。

阪神大震災をきっかけに障害者と関わりをもつようになり、障がい者支援の小さな作業所を開設した柿久保さんは、2001年にNPO法人日常生活支援ネットワークを設立以降、「誰もが自由に移動できる社会をめざして」を念頭に、障害福祉サービス・生活介護・相談支援・児童デイサービス・福祉有償運送事業に取り組まれています。東日本大震災以降には、災害時の移動・送迎のネットワークの必要性を感じ、その活動資金を確保する基金も設立されました。これまでの支援を振り返り、改めて見えてきた課題についてお話しいただきます。

ゲスト:柿久保 浩次氏 (NPO法人 日常生活支援ネットワーク理事長/
NPO法人 全国移動サービスネットワーク副理事長/関西STS連絡会事務局)

司会進行:大里 宣之氏 (社会福祉法人幹福社会 本部事務長/介護福祉士/防災士等)

「移送サービスのつどい」は、移送サービス関係者の集会の老舗である「移送サービスを考えるつどい」「移送サービス研究協議会」と続く流れを引き継ぎ、その成果を踏まえ、より多くの関係者（利用者、運転協力者、運営者など）が気軽に集える場を作ろうと2009年から新たにスタートを切りました。今回で通算30回目を数えます。タイトルに西暦を入れることで、その年々の特色を出したいという思いを込めています。

今回は、運営協議会に関する新しい通達の理解を深めながら、国が進める地域共生社会が私たちの暮らしを豊かに出来るのか、国交省をお招きし、しっかりと学びたいと思います。また、各地で頻発する災害に対し、数々の災害を乗り越えてきた支援の知識とその課題を学び、万が一の事態に備えられるようにしたいと思います。

みなさま、今年も多くの方にご参加いただきますようお願い申し上げます。

<お申込先>

東京ボランティア・市民活動センター（担当：谷口）
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1
TEL：03-3235-1171 FAX：03-3235-0050

<企画内容についての問合せ先>

東京ハンディキャブ連絡会 TEL&FAX：03-3206-8939

<会場案内>

●JR 総武線「飯田橋」駅 西口より徒歩3分

…階段を下り、市ヶ谷方面へ直進、交番を右折。牛込橋を渡っている途中、右側に見える茶色のビルがセントラルプラザです。車いす等をご利用の方は、エレベーターのある東口をご利用ください。

（飯田橋駅西口は、2016年8月7日より駅舎整備のため、西口仮駅舎となります。）

●地下鉄有楽町線・南北線・東西線・大江戸線

「飯田橋」駅 B2b 出口直結



お申込先：東京ボランティア・市民活動センター（FAX：03-3235-0050）

移送サービスのつどい2018 お申込み用紙 申込締切：9月24日（月）

お名前		ご所属	
ご住所	〒 都・道・府・県		
お電話 ファックス		メール アドレス	

*東京ボランティア・市民活動センターのホームページ (<https://www.tvac.or.jp/>) から申し込み可能です。

*内容、講師、登壇者等は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

*ご記入いただいた個人情報は主催者が適切に管理し、市民活動に関する研修等事業のご案内に利用させていただきます。個人情報の取扱いに関する方針はホームページをご覧ください。